

1. 組織の見直し

2. 連携等の取組み

1. 組織の見直し

【ポイント】

➤ 「知事政策局」

総合計画をはじめとした政策の推進に向けた体制
の再構築

➤ 「交通政策局」

広域鉄道ネットワークの維持に向けた体制強化

➤ 「企業局」

電気事業の企画立案、発電制御を一体的に行う
組織への体制強化

① 総合計画をはじめとした政策の推進に向けた体制の再構築

➤ 総合計画を着実に推進する体制の構築

- ・ 総合計画の策定に伴い、**ウェルビーイング推進課**と**総合計画課**を統合
- ・ **ブランディング推進課**を成長戦略課と同じ**企画室**に移管し、関係人口の拡大を更に推進していく。

➤ 人口未来課を政策推進室に移管

- ・ 少子化対策に取り組む**人口未来課**を**政策推進室**に移管し、少子化、人口減少に直結するジェンダーギャップ対策との施策の連携強化を図る。

② 広域鉄道ネットワークの維持に向けた体制強化

- 広域交通・新幹線政策課に「富山地鉄鉄道線担当」を新設
 - ・ 富山地方鉄道鉄道線の再構築事業に向け、**新たな検討組織を立ち上げ**、スピード感をもって議論を進めるため、体制を強化
- 城端線・氷見線再構築推進課に「事業主体変更担当」を新設
 - ・ R8年度からの本格的な施設整備工事や「**あいの風とやま鉄道**」への**事業主体の変更**を着実に推進

③電気事業の企画立案、発電制御を一体的に行う組織への体制強化

➤ 「電気事業室」を新設

- 電力市場や県民ニーズに対応した効率的・効果的な売電方法や発電計画を一体的に企画立案・実施するため、電気課と発電制御所を統合し、「電気事業室」を新設
- 室内に、売電・発電計画の企画立案や発電所の制御・運用に取り組む「発電企画課」、発電所等の改修・維持管理等を行う「発電施設課」、水力発電のリプレイスや地熱資源開発等を推進する「新エネルギー開発課」を設置

2. 連携等の取組み

2. 連携等の取組み

- (1) 官民連携・民間活力の活用
- (2) 市町村との連携
- (3) 県民目線での政策形成・執行、
県民参画による行政の推進

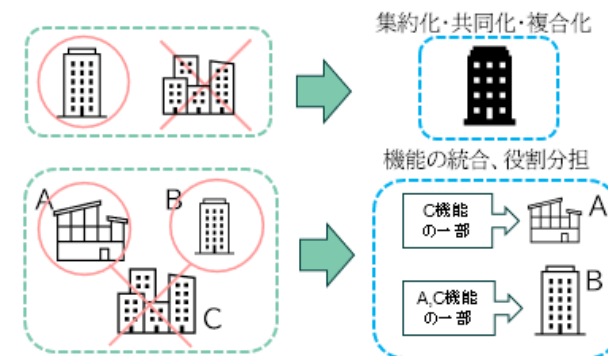
(1) 官民連携・民間活力の活用

- **富山空港の民間事業者による運営開始**
 - ・富山空港に混合型コンセッションを導入し、民間事業者が滑走路等とターミナルビル施設を一体運営
 - ・令和8年4月コンセッション事業開始
- **県有施設へのネーミングライツの導入**
 - ・収入を施設運営やサービスの維持向上に充てるとともに、スポンサー企業との連携・協働を図るため、4月にリニューアルオープン予定の四季防災館に、**県有施設では初となるネーミングライツを導入**
- **指定管理者制度における賃金・物価スライドの導入**
 - ・指定管理料の算定に賃金・物価スライド制度を導入し、近年の物価上昇や人件費高騰などの**急激な社会経済情勢の変化に迅速かつ的確に対応**

(2) 市町村との連携

➤ 県民に必要な行政サービスを市町村と連携し、提供し続けるための検討・取組み

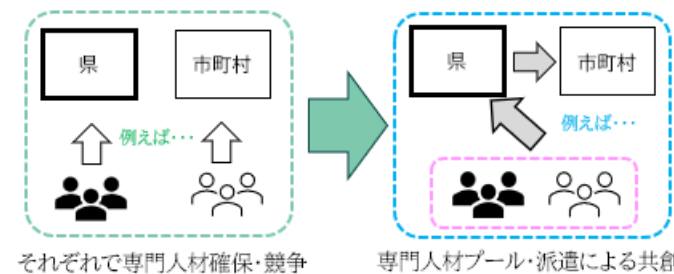
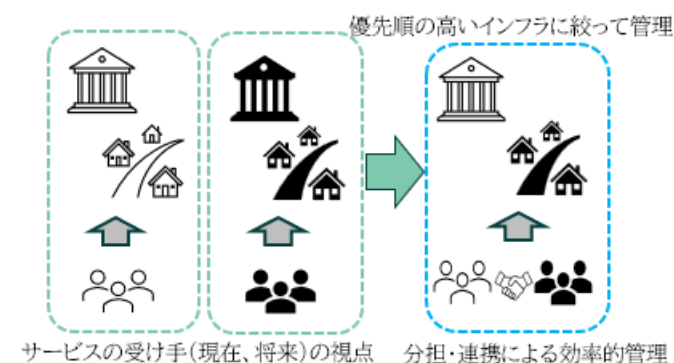
- 人口減少社会に適応するため、**持続可能な行政サービスのあり方を、県民目線・未来志向で引き続き検討**
- 土木インフラについては、**ワーキンググループを設置し、道路・橋を中心に「持続可能なインフラマネジメント方針」を議論**
- 公共施設については、**県公共施設等総合管理方針を改訂し、削減目標等を明記**



(2) 市町村との連携

- 県内初の「群マネ（地域インフラ群再生戦略 マネジメント）」を試行
- 県農業職と市町村職員との協働・働き方改革を試行
- 市町村のDXの取組みを進め、県民の利便性向上を図るため、県において、市町村に巡回配置する専門的なデジタル人材を確保
- 富山県内で行政サービスの担い手として働く魅力を効果的にアピールするため、県・市町村合同で採用説明会を開催

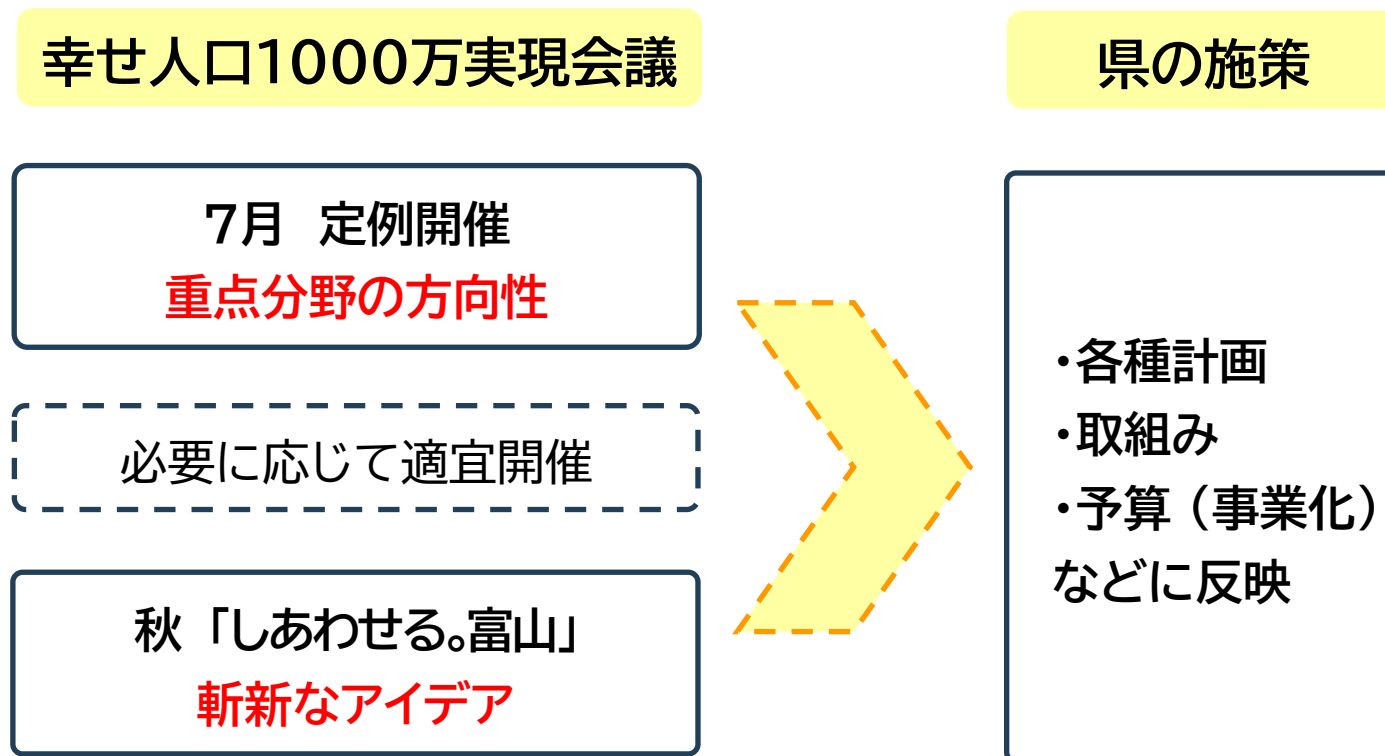
※群マネ…複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉え、効率的・効果的にマネジメントしていく取組み



(3) 県民目線での政策形成・執行、県民参画による 行政の推進

➤ 「幸せ人口1000万実現会議」の開催

- 現行の富山県成長戦略会議を改編し、**幸せ人口1000万実現会議を設置**。県政の重点分野の方向性について新たな視点から助言。



(3) 県民目線での政策形成・執行、県民参画による 行政の推進

➤ ウェルビーイング指標を活用した総合計画に基づくPDCA サイクルの確立

- 総合計画に位置付けた12の政策分野ごとに、ウェルビーイング指標を活用した**施策設計図**（※）による**政策評価の仕組みを導入し、総合計画に基づく施策のPDCAサイクルを確立**



①政策評価

※施策設計図とは？

施策の論理的な構造を明示する「ロジックモデル」をベースに、ウェルビーイングの要素を取り入れたもの



予算編成（政策立案）時だけでなく、**政策評価の段階でも施策設計図を活用し、同様の様式で効率的にPDCAを推進**

➤ 伝える広報のさらなる推進

- ターゲットに応じた効果的な広報の推進
- 職員研修や伝える予算の事前協議による「サーロインの法則」
(作る3：届ける6：分析する1) の徹底を推進
- デジタル化による県民の利便性向上等を図るため、県発行
刊行物の電子化(アーカイブ化)を促進
 - ▷ 県刊行物センターは廃止(R8.3末)

(3) 県民目線での政策形成・執行、県民参画による 行政の推進

➤ 令和7年度官民協働事業レビューによる見直し(14事業)

拡充	1事業(デジポックとやま実証実験プロジェクト事業)
一部改善	9事業(農業用水路安全対策普及事業、とやま中小企業人材育成力レッジ 等)
抜本的改善	1事業(とやま型スマート農業推進事業)
廃止	3事業(とやま建設女子's魅力ある職場づくり支援事業、 福祉・介護人材マッチング強化事業 等)

➤ 令和8年度官民協働事業レビューの実施

- ・令和7年度と同様に、県民の皆さんが事業を理解しやすいよう
実施方法を工夫

＜主な見直しポイント＞

- ▶新たに策定した「富山県総合計画-幸せ人口1000万～ウェルビー
イング先進地域、富山～を目指して」の「12の政策分野」からテ
ーマを設定し、テーマごとに選定した事業の説明・議論を実施